



テュートリアル課題 薬を止めたせいかしら？

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2010
号	B4
発行年	2010-08-16
URL	http://hdl.handle.net/10470/30694

2010 年度 Block. 4

課 題 No. 1

課題名：薬を止めたせいかしら？

課題作成者：神経内科学

飯嶋 睦

シート1

整子さんは74歳の女性で、変形性膝関節症の手術のため入院中でした。起床時トイレに行く途中、突然、左手足に力が入らず転倒してしまいました。左手足の感覚が少し鈍いことにも気がつきました。

シート2

整子さんは以前から時々動悸があり、発作性心房細動と診断されていました。前日も動悸を自覚していました。また、一過性に右手の脱力が出現した既往があり、循環器科から内服薬が処方されていましたが、手術前のため薬を自己中止していました。緊急で心電図検査が施行されました。

シート3

血圧は130/60 mmHg, 脈拍は85／分、不整でした。同日、神経内科の診察を受け、左顔面を含む不全片麻痺、左半身の感覚鈍麻を指摘されました。頭部CT、血液検査を施行後、すぐに点滴治療が開始されました。翌日、頭部CTの再検査と、頭部MRI, MRA検査を行いました。

シート4

嚥下に問題ないことが確認され、点滴治療から内服薬に変更されました。
主治医から、ワルファリンは中断せず継続し、納豆は絶対に食べないようにと説明を受けました。左麻痺と感覚鈍麻は残存しているため、リハビリテーションを開始することになりました。